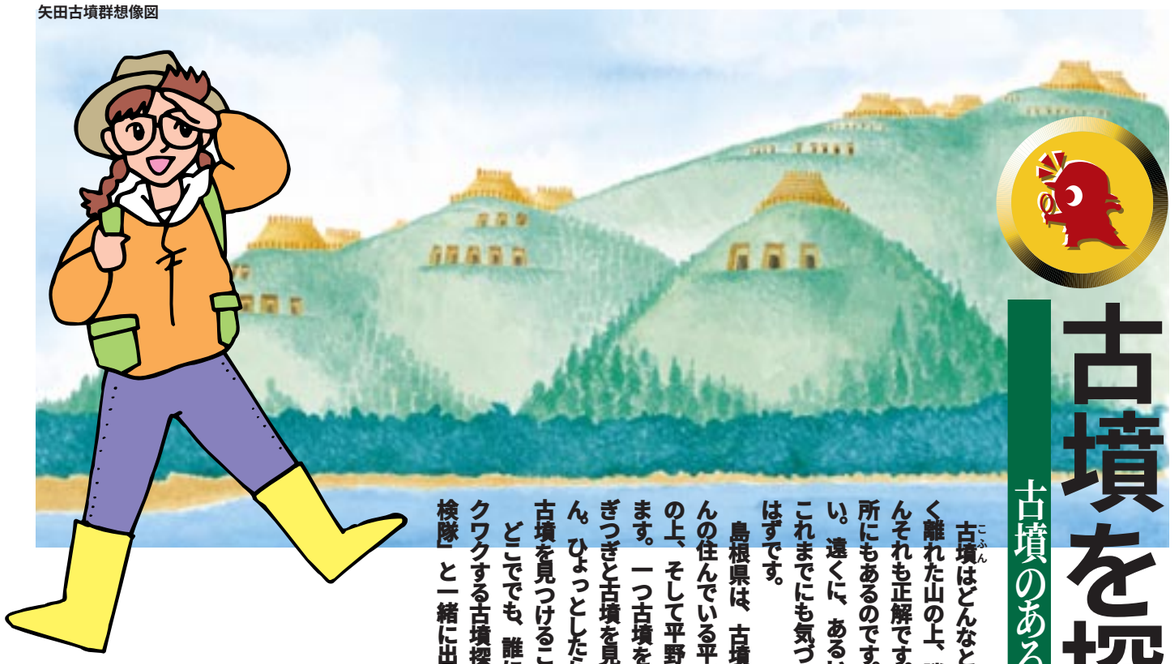
INISHIE TANKENTAI

探検隊に入門する

矢田古墳群想像図



古墳を探そう

古墳のある場所

古墳はどんなところにあるのでしょうか。遠く離れた山の上、隣町の古墳公園の中、もちろんそれも正解です。しかし古墳はもっと身近な所にもあるのです。窓を開けて外を見てください。遠くに、あるいはすぐ目の前に山があれば、これまでにも気づかないうちに古墳を見ていたはずです。

島根県は、古墳の多い地域です。現在みなさんの住んでいる平野に面した丘陵の上や、台地の上、そして平野の中にも見つけることができます。一つ古墳を見つけてコツをつかめば、つぎつぎと古墳を見つけることも夢ではありません。ひょっとしたら、まだ誰も知らない、大きな古墳を見つけることができるかもしれません。

どこででも、誰にでもでき、そしてちょっとワクワクする古墳探し。さあ、あなたも「古墳探検隊」と一緒に出発しよう。

矢田古墳群(安来市矢田町)

出かける前に遺跡地図で探る

一九九六年現在、島根県で見つかっている古墳は、全部で四五〇〇基を超えます。どこにどんな古墳があるのかについては、県あるいは市町村が「遺跡地図」というかたちでまとめています。

遺跡地図は各市町村の教育委員会や図書館などに置いてあり、これを見ればいかに身近な場所に古墳があるかがよくわかるでしょう。地図の読み方をご存じの方なら、どんな地形の所に古墳が多いかということまでわかるはずです。古代の遺跡や戦国時代の山城といった古墳以外の遺跡も載っています。

行き先は地形を見て探す

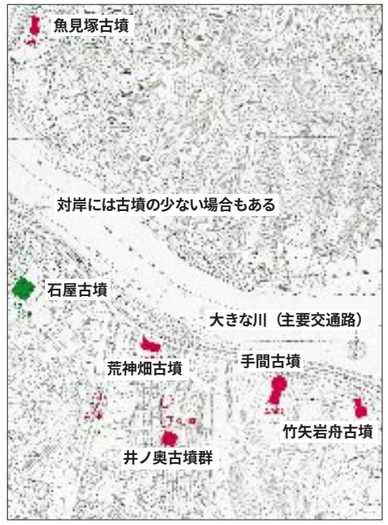
遺跡地図を見て自分が行きたい古墳を探すときは、まず歩いて上がれそうな低い（ふもとから三〇メートルぐらい）丘陵や台地を見つけてください。丘陵は、周囲が平地に囲まれていて、かつ山がなだらかに連続したような長い尾根の所がベストです。また平地に島が浮かんでいるような、独立丘陵もいいでしょう。

古墳は尾根や台地先端の頂上、つまりまわりの平野が見下ろせる眺めのよい所にあるはずです。もし先端で見つからなくても、尾根上を歩き続けるうちに、より高いところで見つかるかもしれません。このほか、平野のまん中にポツンと一基だけある古墳もあります。

迷惑をかけないように

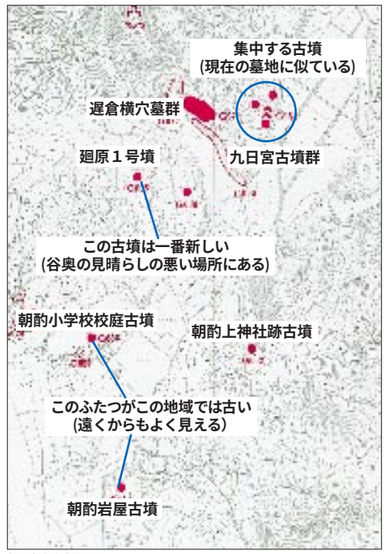
古墳が民家の近くや畑の中にある場合は、断りを入れてから、作物などを荒らさないように注意して見学しましょう。車を止める場合も同様です。また地元の人に出会ったら、古墳の場所などを聞くとよいでしょう。

丘陵の先端部に大きな古墳がある例／松江市大橋川南岸（当時の交通の要衝にあることが多い）



松江市遺跡地図より

大きな平野を囲む丘陵に散在する例／松江市朝酌町（一つのまとまりのある地域）



松江市遺跡地図より

注意！古墳は自然の一部

「せっかく古墳のありそうな山を見つけたけれど、草木が茂っていてはいれない」などということがよくあります。きちんと整備された古墳ならいつでも簡単に見ることができますが、ほとんどの古墳はふだん人のはいらない山の中にあるため、探検するうえでいろいろな障害に出会います。ここでは、注意すべき点と対策について考えてみましょう。

1・ベストシーズンは晩秋から初春にかけて

草が枯れ、ヘビやハチなども出ない晩秋から初春にかけてがおすすめの季節です。

2・服装にも注意

虫に刺されたり、草木で傷つくのを避けるため、長袖、手袋など、できるだけ皮膚を露出しない服装で出かけましょう。半袖、半ズボンは厳禁です。また、つぎのような植物には、とくに注意してください。

ハゼ・ウルシ…触ったり近寄るとかぶれます。

アザミ……刺がたくさんあります。

3・山道を登る

どんな山でも、道はあります。道のない所を歩いていくと、迷ったり、野性動物に出会う危険があります。ただし山道であっても、最近は使われていない場合、同様の危険がありますので注意してください。すこしでも怪しいと思ったら、すぐに引き返すこと。安全第一です。

ハゼ

アザミ